

Trader's Databank

砂田伊知郎 sunada@bug.co.jp

山一証券、山一情報システム、NY駐在を経て、現在㈱ビー・ユー・ジー/プロジェクト推進本部で国際業務・新規事業企画を担当。

NOTE：私事ですが、2月末に遅い正月休みを取り、メキシコの海に行ってきました。メキシコの東端でのインターネット接続は無理だろうと思いながら日本を出発したのですが、予想は見事に外れ、現地のローミングポイントに一発で接続。メールや株価検索も日本と変わらないインターネット環境で過ごすことができました。それから、海辺のホテルではCNBCも見られたのです（CNBCは米国三大ネットワークのNBCとダウジョーンズが運営する金融テレビチャンネル。日本では日経と組んで「日経CNBC」としてCSで放送中）。ウォールストリートの証券会社では、天井から吊り下げられたテレビからCNBCが常時流れているほど重要な金融メディアです。

そのようなテレビがライブで視聴でき、インターネットにも快適につながれば、何の問題もなくオンライントレードが可能です。テレビCMで「海外の砂浜でビーチチェアに横になり、PCでメールを受信する」というシーンがありますが、これが現実のものになりつつあることを実感させられました。

さて、この1か月の動きで注目するニュースは「ニューヨーク証券取引所（NYSE）とナスダックの合併協議」と「電子証券取引ネットワークの最大手と第2位の合併交渉」です。NYSEとナスダックと云えばライバル同士のはずですが、ECN（電子証券取引ネットワーク）などの新興勢力への対抗と、今後世界で市場統合の主導権を握るために手を組もうという戦略だと思えます。交渉中なので実現するかは今のところ不透明ですが、証券市場の巨人同士でも協力しなくては新興勢力と戦えないと判断するほど、証券市場を取り巻く状況はドラスティックに変化しているということを物語っているのではないのでしょうか。（2000年3月13日）

今月の一覧表

日本のオンライントレードを完全チェック

48社

掲載 オンライントレード

新登場：イー・ウイング証券、さくらフレンド証券、ジェット証券、新光証券、つばさ証券、新潟証券（6社）

詳しくは一覧表（338ページ）に

新たな証券会社の設立や合併が相次ぐ

証券会社の合併や新たな会社の登場で、証券業界は例年になく話題豊富な新年度を迎えることになりました。今月の主な動きは、親会社である銀行が主導するかたちで業務の統合を図る動きが盛んだったという点です。

今までは「ファイアウォール規制」と呼ばれる「業務の垣根」が設けられており、銀行業務と証券業務がはっきりと分けられていました。この垣根が低くなり、将来的に一元化されることを見越しての戦略的な合併が行われたということです。

今月は6社が新たに登場し、合併元となる会社を含む8社がなくなりました。一覧表に掲載されている証券会社数は差し引き48社となっています。新顔の6社のうち3社が合併してできた会社、残りの3社は新顔です。

新たに登場した証券会社を並べると、一覧表の上から「イー・ウイング証券」「さくらフレンド証券」「ジェット証券」「新光証券」「つばさ証券」そして「新潟証券」となります（50音順）。

ここでは、それぞれの会社について簡単に解説したいと思います。

合併によって誕生した証券会社

さくらフレンド証券

山種証券と神戸を本拠としていた神栄石野証

券とが合併して生まれた証券会社。さくら銀行グループ。

新光証券

新日本証券と和光証券が合併してできた証券会社。日本興業銀行グループ。

つばさ証券

ユニバーサル証券、太平洋証券、東和証券、第一証券の4社が合併してできた証券会社。三和銀行グループ。

新たに登場した証券会社

イー・ウイング証券

主要株主に三和銀行、つばさ証券、パートナーズ投信を持つ新しい証券会社。「証券投資初心者にも、またインターネット初心者にもや



3月1日、イー・ウイング証券の設立記者会見で語る同社代表取締役社長の小早川真希雄氏（東京、帝国ホテル）

さしい発想のオンライン証券会社」という方針。三和銀行グループのオンライン証券会社。

ジェット証券

元長期信用銀行の社員が中心となって創業したインターネット専門証券会社。顧客ターゲットを「25～35歳の自立した女性層」に置き、証券業にとって新たな顧客層にアプローチしていく方針。

今回は4社の証券会社が合併して誕生した「つばさ証券」と「イー・ウイング証券」の2社を同時にスタートさせた三和銀行系の動きが目立ちます。「日興証券」と「日興ビーンズ証券」のような役割分担になると思われますが、今後の展開に注目したいところです。さらに、三和銀行が持つ銀行業務との連携にも期待したいところです。



「25～35歳の女性」をターゲットにした営業展開を行うというジェット証券。

モバイルによる オンライントレードが急速に普及

オンライントレードというと「パソコン」を利用した取引に目が向きがちですが、その裏で携帯電話を使った「モバイルトレード」の急速な普及が進んでいます。

DLJディレクトSFG証券では、全取引の15～20%がiモード経由の取引で占められるまで伸びているそうです。NTTドコモグループのiモードが420万台、DDIとセラー電話グループ、ツーカーグループによるEZwebと日本移動通信によるEZアクセスの合計が100万台を超えた現在、携帯電話端末での注文件数が増加するの至極当然の動きと言えます。

最大手の野村証券も3月21日からiモードでの株式取引を開始することから、一気に「モバイルトレーダー」が増加することになりそうです。

今のところ、各証券会社によるiモードのサービスは以下の4つが中心です。

株式売買の注文

現在、iモードから株式発注の可能な証券会社は、4月に開始予定も含めて7社あります。今月掲載した証券会社数は48社ですから1割強の証券会社がiモードからの発注が可能ということになります。また検討中と回答した証券会社も数社ありますので、近いうちにオンライントレードを提供する証券会社のうち2割以上が株式発注のiモード対応を完了することになるようです。株式以外にも、中期国債ファンドやMME、外貨建てMMFの取引ができることもあります。特に「US MMF」や「ユーロMMF」に投資している投資家は、為替が大きく動いたらすぐにiモードから注文が出せるので、機動的な売買が可能となります。

注文を出せるのは国内株式だけですが、米

株式の注文をiモードから受けられるように検討している証券会社もあるようです。

預かり資産の照会

預かり資産の照会が可能な証券会社は4社あります。預かり証券の残高と預かり金の残高の照会ができます。

時価情報

時価情報の照会ができるのは5社で、うち4社は口座を持っている顧客に対して無料でリアルタイム株価を提供しています。数年前まではワイヤレスでリアルタイムの株価情報を入手するには、専用の端末を契約して高額な利用料を払う必要がありました。顧客以外でも20分遅れの株価ならば照会が可能です。また4月からは、さくらフレンド証券と丸三証券がサービス開始の予定です。

これ以外にも、日本オンライン証券や日興ビーンズ証券などは、「株価通知メール機能」(あらかじめ登録した株価になったら電子メールや電話で通知してくれる機能)を提供しており、これらはiモードでも利用できます。野村証券も5月から同様のサービスを開始する予定です。

市況ニュース サービス

市況ニュースなどの情報を提供し

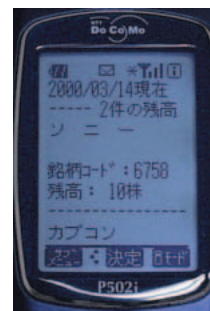
ている証券会社は4

社あります。コスモ証券や大和証券、野村証券では「市況概況・コメント」の情報をDLJディレクトSFG証券はフィスコ社によるマーケットコメントが参照できます。

これからのモバイルトレード

今秋にはiモードのJava対応機種が登場が予定されています。端末がJava対応になればセキュリティの強化が図れるので、さらに安心してモバイルトレードが使用できるようになります。また、銘柄をセットしておけば画面上でリアルタイムで株価を自動更新するといったサービスも可能となるでしょう。

さらに来年になるとIMT-2000に対応した携帯電話の登場が予定されています。動画の送信も可能となるので、ブルームバーグやCNBCのライブビデオを見て投資情報を入手し、即座に株式注文を行うというも実現間近になってきたようです。



iモードに対応している証券会社

取引注文に対応している証券会社	大和証券、DLJディレクトSFG証券、日興証券、日興ビーンズ証券、野村証券、さくらフレンド証券(4月開始予定)、丸三証券(4月開始予定)
預り資産照会・残高照会に対応している証券会社	大和証券、DLJディレクトSFG証券、野村証券、さくらフレンド証券(4月)
リアルタイム時価情報を提供している証券会社	大和証券(有料情報サービス契約者)、DLJディレクトSFG証券、日興証券、日興ビーンズ証券、野村証券、さくらフレンド証券(4月)、丸三証券(4月)
市況概況・ニュースサービスを提供している証券会社	コスモ証券、大和証券、DLJディレクトSFG証券(フィスコ社情報は4月から有料の予定)、野村証券

50音順。各社サービス内容は3月14日現在。

サービス開始前の証券会社： ジェット証券3月27日取引開始、イー・ウイング証券

4月3日取引開始、シュワブ東京海上証券 準備整い次第開始予定

取引・手数料など										取引・手数料など										株式注文可能時間(※4)		サポート		(セキユリテイー対応)
売買取引手数料(指値)			一口注文の適用(%)	手数料割引引きプランの有無	銀行口座自動引き落とし	決済金額の銀行口座	決済金額が銀行口座より即時に引落とされるサービス	入金	郵便局「ゆうちょ」からの振替はATMからの入金	オンラインサービス利用料(年)	口座管理料/口座維持料/年	情報サービス料(円/年)	iモード対応				マッキントッシュ対応	携帯端末対応	ゲーム機	その他端末	平日	土・日・祝日	電子メール	
約定金50万円	約定金100万円	約定金300万円											預かり資産別	株式注文	時価情報会社(※23)	現ニート(※24)								預かり資産別
1,500	1,500	1,500							無料	無料	無料								B	B			SSL40	
2,500	3,450	8,850							無料	無料	無料								B	A			電子認証	
4,250	8,250	21,250							無料	無料	無料								B	B			SSL40	
1,500	1,500	1,500							無料	無料	9月まで無料	対応	対応	対応					B	B			SSL128	
2,500	2,500	7,500							無料	無料	無料								A	B			SSL128	
2,000	3,000	9,000							無料	無料	1,854円(選択制)								B	B			SSL40	
5,750	11,500	27,850	相談により最大15%割引						無料	2,000円	3か月6,000円(当初3か月無料)								B	B			SSL40	
2,000	2,000	3,600							無料	無料	(※20)								B	B			SSL40	
2,000	2,000	3,000						取扱い予定	無料	無料	無料								B	B			SSL40	
1,000	1,000	900	会員制(6,000円/月で一律500円)						無料	無料	未定								B	B			SSL128	
4,525	9,050	22,550	証券総合口座では手数料一律0%割引			(6行)			無料	(※17)	サービス料を含む								F				SSL40+SECE	
2,000	2,000	3,750	取引回数ポイント制(最大30%割引)						9月未まで無料	無料	サービス料を含む	検討中	検討中	検討中					B	B			SSL40	
3,575	7,150	18,200				(第一勧業銀行)			無料	3,150円	無料								F				SSL128	
3,450	6,900	17,700							3月未まで無料	3,150円	無料								F				SSL128	
4,600	9,200	23,280				(5行)			無料	無料	無料			A					F				SSL40	
2,000	3,000	9,000							無料	3,150円/年	無料			A					F				SSL128	
1,500	1,500	1,500							無料	無料	無料	検討中	検討中	検討中	検討中		検討中	検討中	N	M			SSL40	
未発表	未発表	未発表							無料	未発表	未発表								未発表	未発表			SSL128	
3,500	7,000	18,000							無料	1,575円	無料					(※22)			F				SSL40+SECE	
2,500	4,800	14,400							無料	無料	無料								B	A			SSL40	
2,000	2,500	7,500							無料	無料	無料								K	K			SSL40	
4,310	8,620	21,820				(60行)			無料	3,150円(条件を満たせば半額)	無料			A			WindowsCE		I	E			SSL128	
2,500	2,500	2,500	i-modeキャンペーン実施						無料	無料	無料			A			ザウルス		B	B			SSL40	
2,500	2,500	2,500							無料	無料	無料								B	B			SSL40	
2,000	4,000	12,000							無料	無料	無料				対応中				H	H			SSL40	
2,875	5,750	14,125	総合口座、取引量に応じて						無料	無料	無料								B	A			SSL40	
4,312	8,512	20,813							無料	無料	サービス料を含む								F	O			SSL40	
2,500	2,500	2,500	9月までキャンペーン中					検討中	9月未まで無料	無料	サービス料を含む								A	A			SSL40(128移行準備中)	
2,000	2,500	7,500							無料	無料	無料								A	A			SSL40	
2,000	2,000	2,000	あり						無料	無料	サービス料を含む								F	F			SSL40	
2,000	4,000	12,000							無料	2,100円/年5,040円/3年	無料								Linux	J			SSL40	
5,750	11,500	29,500				(都銀7行他)			無料	3,150円	無料			A					F				SSL40	
1,000	1,800	5,400	ポイント制						無料	無料(※18)	無料			A					D	C			SSL128	
2,500	3,000	9,000							無料	無料	無料								A	A			SSL40	
1,700	2,500	6,500	固定料金プラン			(住友銀行、第一勧業銀行)			無料	無料	4月まで無料	5月上旬予定	5月上旬予定						ウェブTV	A	A		SSL128	
2,000	2,000	2,000	一部有り						無料	無料(口座開設料3,150円)	3,150円/月	未定	予定あり	予定あり	予定あり				I	I			SSL40	
1,000	1,000	1,000							12,000円(税別)	無料	無料								N	M			SSL128+CyberTrust	
5,000	9,200	22,800	あり						無料	3,150円(※19)	無料(※21)			A				DreamCast	G	P			SSL128+CyberTrust	
4,087	8,175	20,175							無料	無料	無料								G				SSL40	
2,875	5,750	14,750	検討中					対応予定	無料	無料	無料								L	L			SSL40	
3,000	3,000	3,000							(※16)	無料	サービス料を含む	検討中	検討中	検討中	検討中				I	I			SSL40	
1,500	1,500	3,750	ポイント制			(富士銀行)			無料	1,200円/半年の予定(9月未まで無料)	無料	準備中	準備中	準備中	準備中				B	B			SSL40	
2,000	2,000	3,000							無料(キャンペーン中)	無料	サービス料を含む			4月開始予定	4月開始予定				G	A			SSL40	
4,600	9,200	23,600	検討中						無料	無料	無料								A	A			SSL40	
2,000	3,000	9,000							無料	無料	無料								Unix	A	A			SSL128
1,905	1,905	3,000							無料	無料	無料(リアルタイム株価のみ12,600円)								B	A			SSL40+VeriSign	
2,875	5,750	14,450							無料	無料	9月未まで無料								A	A			SSL40	
2,000	3,000	9,000	最大2割まで払い戻し						無料	無料	口座開設後半年間無料								N	M			SSL40	

バイスを受ける場合は手数料率が変わる。(※16) 6,000円/半年(最初の半年は無料、その間一度でも取引あれば翌半年も無料、以降同様)。(※17) 3,150円(同証券の株主で当該株式を同社に預けている場合は無料)。(※18) 但し月末預り資産が30万円を下回った場合月額2,000円の口座維持手数料を口座引き去り方式で負担。(※19) 保管装置機補全預託の場合は半額。(※20) 口座開設後1年間無料(その後12,000円、取引実績あれば無料継続)。(※21) 規定回数以上のアクセスは追加料金が必要。(※22) 情報のみ利用可。(※23) A:リアルタイム株価データ、B:遅延株価データ。東洋証券は4月3日以降の手数料。日興ビーンズ証券は預かり資産が1億円以上ある場合の手数料。

本記事は株式などの金融商品への投資を勧誘・推奨するものではありません。投資、運用は自己の責任において行ってください。なお、記事に対するご意見はim-kabu@impress.co.jpまでお寄せ下さい。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp